

在本邦アメリカ合衆国大使館

特命全権大使

キャロライン・ケネディ 閣下

このたび、貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年7月から9月の間に、1回のZマシンを使用した核性能実験を実施していたとの情報に接しました。

10月に開催された国連総会では、核兵器の非人道性と不使用を訴える共同声明が発表されるなど、核兵器廃絶に向けた世界の気運が高まっております。そのようななかで貴国が核実験実施されたことは、平和を願う世界中の人々の期待を踏みにじる行為であり、断じて容認できません。

また、オバマ大統領自身がプラハやベルリンなどで述べている核軍縮の表明と今回の行動とは「言行不一致」と言わざるを得ません。

貴国におかれましては、今後、あらゆる核実験を中止するとともに、真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たすよう、強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2013年11月15日

帯広市長 米沢 則寿